

北海道発（株）ジャパンプルーカーボンプロジェクトが藻場再生により脱炭素を目指す実証実験」を釧路西港で開始

株式会社ジャパンプルーカーボンプロジェクト（代表取締役 吉川 京二）が主体となり、協力企業と共同で、藻場を人為的に促進することで、CO₂ 吸収量の増強が可能かを実証実験する「ブルーカーボンプロジェクト」を釧路西港で2022年3月より開始しました。

藻場等の海洋生態系は地球温暖化に影響を与える CO₂ 吸収源対策の新しい選択肢として注目されています。しかしながら、沿岸域における海水温の上昇、魚類、ウニ等の採食活動の活発化、海岸の環境汚染など様々な要因により 2010 年時 1990 年代比 18,538ha の藻場が消失されています。株式会社ジャパンプルーカーボンプロジェクトは藻場を再生し、CO₂ 削減に貢献するため実証実験を行います。

本実証実験は二つの目的で、以下概要で実施されます。

一つ目は「メンテナンス効果（雑海藻駆除）」の検証です。天然コンブ漁場の雑海藻を駆除することにより収穫を増やす手法を活用し、雑海藻駆除した（駆除区）ブロックと自然のまま（対照区）のブロックを組合せた実験場を離れた場所で各々3個作り、その繁茂状況を比較します。

二つ目は「植生による効果」の検証です。自然発生に頼らないスガモ（海草の一種）を植生することにより、どの程度繁茂するかを確認します。

これら二つの実験を3ヶ月ごとに観察、計測することで生えてくる海藻種構成とその後の成長度合いを観察、計測し、生息の違いにより、どの様に CO₂ 吸収量の変化に貢献するのか検証します。

本実証実験は2025年5月まで観察、計測を継続、毎年 CO₂ 吸収量の変化を発表します。なお、本実証実験の途中経過、成果については釧路西港ブルーカーボン活動推進研究会を通じて報告し、ホームページ等で一般公開の予定です。

本実証実験にかかる費用負担は（株）ジャパンプルーカーボンプロジェクトにて準備、一部の資金はクラウドファンディングにて募集中です。

プロジェクト名：北海道の海から温暖化を止める！未来の子供たちにきれいな海を残したい！

URL：<https://camp-fire.jp/projects/view/550677>

目標金額／3,000,000 円

募集期日／2022年2月1日（火）～3月18日（金）

また、将来的には CO₂ 排出枠を企業に販売する事業も検討の予定です。

今後も株式会社ジャパンプルーカーボンプロジェクトは藻場再生等により脱炭素を目指す持続可能な社会の実現に貢献していきます。

■株式会社ジャパンプルーカーボンプロジェクトについて

ブルーカーボン活動*は、当初ボランティアでの活動を考えましたが、持続可能な活動にするには法人組織がベターだと決断。縁あった「ウニ漁業 60 年の北海道・浜中町・平川水産」と「海の清掃・再生 30 年の北海道・厚岸町・松井商会」の協力を得て、2021 年 9 月に「(株) 北海道ブルーカーボンプロジェクト」を設立。更に「全国」「海外」からの要望に応えるべく、本社を北海道・浜中町から、東京に移し「(株) ジャパンプルーカーボンプロジェクト」に、2021 年 12 月に社名変更。現在に至っている。代表取締役の吉川京二氏は大手タイヤメーカーの(株)ブリヂストン出身。未来の子供たちのためにキレイな海を残したい、との思いで本プロジェクトを立ち上げ 76 才で起業した。

*ブルーカーボン：2009 年 10 月に国連環境計画 (UNEP) の報告書にて、藻場・浅場等の海洋生態系に取り込まれた炭素による吸収源対策 (CO2 削減) の新しい選択肢として命名

■本リリースのお問合せ先

株式会社ジャパンプルーカーボンプロジェクト (東京都板橋区高島平 1-79-3)

T E L : 03-3931-2540 担当/加唐 (かから) m57116tk@gmail.com